

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覧

主食		
市場規模は4ヶ月連続で続き前年を上回り、拡大基調に転じた。「菓子・調理パン」：主要メーカーでは好不調で明暗。「シリアル」：主力メーカーが2桁増と軒並み好調。新商品が好調で既存品の不調をカバー。「乾麺」：記録的な高温もあり、そば、そうめん、ひやむぎを中心に前年プラスで牽引。「スパゲティ」：2位以下メーカーの好調さがトップの不振をカバー。「てんぷら粉」：上位メーカーが好調で、2か月連続前年を上回る。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
主食 TOTAL	100.4	-0.6
米		
米飯類	100.7	-2.2
食パン		
菓子パン・調理パン	100.9	-1.7
シリアル類	112.7	6.3
袋インスタント麺	100.0	-1.1
カップインスタント麺	101.0	-1.4
乾麺	104.2	4.1
生麺・ゆで麺		
スパゲティ	103.4	2.6
マカロニ類		
小麦粉		
てんぷら粉	102.5	2.1
唐揚げ粉		
パン粉		
プレミックス		

調味料		
市場規模は先月に続き前年を下回ったものの、マイナス幅は縮小。今月は洋風調味料の好調さが目立つ。「シロップ類」：ケーキ用やメープル、ガムシロップなどの定番の好調に加え、新たなジンジャーシロップが牽引。「マヨネーズ」：主力メーカーが大きく伸長。新たなメーカー参入で活性化も。「香辛料」：トップメーカーに加え、主力メーカーも追随。新商品も上市され益々賑わいを見せている。「わかめ・こんぶ類」：わかめ、こんぶともに好調さ維持。「ゴマ油」：トップの不振を2.3位メーカーがカバーして牽引。「バター」：前年プラスを継続。トップの苦戦が続く中、2位メーカーもプラスに転じ、3以下の主要メーカーが引続き牽引。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
調味料 TOTAL	99.3	2.6
醤油		
味噌		
食塩	100.3	-7.5
料理酒		
砂糖		
低カロリー甘味料		
シロップ類	106.0	5.0
蜂蜜		
ソース		
ケチャップ	100.1	-1.2
マヨネーズ	105.9	10.7
ドレッシング	102.8	6.5
香辛料	103.0	4.1
エッセンス類	100.3	7.7
焼肉シヤブシヤブのタレ		
食酢		
ほん酢		
本みりん		
みりん風調味料		
風味調味料		
削り節		
煮干し		
わかめ・こんぶ類	104.7	3.6
つゆ・煮物料理の素		
サラダ油・天ぷら油	100.6	10.4
ゴマ油	104.6	4.2
バター	103.9	1.6
マーガリン類		
チーズ	100.1	2.1
ジャム・ママレード		

※網掛け  
前年比 105%超: 112.7

加工食品①		
市場規模は先月に続き前年を上回る。今月はふりかけ、お茶漬の素、味噌汁・吸い物類、パスタソースが登場し、家庭内での調理・食事増が目に見えらる。「パスタソース」：スパゲティの好調さに連動。「調理用スープ」：コンソメが牽引。拡大基調は継続。ここでも家庭内調理の増加がうかがえる。「冷凍食品類」：消費税増税から外食を控え、内食に向かう中での需要増か。特に素材系の「水産」、「農産」の伸長がそのことを物語る。簡便でおいしさに満足できる点が後押し。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
加工食品① TOTAL	100.6	-0.5
春雨・くず切り		
こうや豆腐		
海苔		
ふりかけ	100.6	2.2
お茶漬の素	100.3	2.3
まぜご飯の素		
カレー		
シチュー		
パスタソース	101.8	-0.1
シチューベース		
メニュー専用料理の素		
スープ類		
味噌汁・吸い物類	100.5	-1.9
調理用スープ	104.5	-0.3
冷凍水産	117.1	1.3
冷凍農産	108.5	-0.2
冷凍調理	104.6	0.2

加工食品②		
市場規模は3ヶ月ぶりに前年を上回った。「畜肉缶詰」：コンビーフの缶詰がリニューアルされるとの発表から買いため消費!か。前年の2倍強の販売。「パウチ入り食材」：蒸し大豆に変わってタケノコ、スイートコーン、カットトマトが2桁増で牽引。「畜肉ソーセージ」：主要メーカーが揃って前年を上回る。主力の既存品が好調なことに加え、昨秋の新商品が浸透してきたことも大きい。「ベーコン」：主要メーカーが揃って前年を上回る。昨年から時期を問わず新商品が投入され、市場が活性化したか。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
加工食品② TOTAL	100.7	3.5
魚介類缶詰		
野菜缶詰		
フルーツ缶詰		
畜肉缶詰	121.9	27.7
パウチ入り食材	103.2	1.2
和風食品	102.2	2.2
洋風食品	102.4	2.8
中華風食品		
畜肉ハム	100.1	1.7
畜肉ソーセージ	103.2	1.7
魚肉ソーセージ	101.1	-3.7
焼豚		
ベーコン	102.9	2.1

加工食品③		
市場規模は7か月連続で前年を下回る。前年をクリアしたカテゴリは僅かに2つ。「かまぼこ」：4か月ぶりに前年を上回る。かに足かまぼこが2桁増と復活し全体を牽引。「もずく・めかぶ」：好調のめかぶは10か月連続して2桁増。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
加工食品③ TOTAL	98.1	0.3
かまぼこ	104.0	5.8
ちくわ		
はんぺん		
揚げ物		
納豆		
煮豆		
佃煮		
もずく・めかぶ	108.2	-1.6
豆腐類		

菓子		
市場規模は2ヶ月連続で僅かに前年を下回った。「スナック」：主力メーカーが揃って前年を上回る。新商品の上市などで市場が活性化。「栄養バランス食品」：トップは再び入れ替わり元に戻るが、2位メーカーは依然2桁増で好調さ維持。売れ筋は変わらず一本食べきりのバータイプで、プロテイン成分配合の商品。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
菓子 TOTAL	99.7	0.2
チョコレート		
キャラメル		
キャンディ		
チューインガム		
ビスケット&クラッカー		
スナック	103.0	2.3
煎餅・あられ	101.2	-0.9
玩具メーカー菓子		
栄養バランス食品	109.4	4.1

嗜好品		
市場規模は4か月連続で前年を下回り回復の基調は見られない。「アイスクリーム」：5か月連続で前年を上回る。が、主力メーカー間では新商品や話題の商品の出来で明暗が。「ベビーフード」：トップメーカーが好調さを維持。2位以下は明暗が。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
嗜好品 TOTAL	98.6	-0.8
アイスクリーム	103.4	1.5
デザート類		
ベビーフード	103.8	0.6
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム	101.5	-0.3
インスタントコーヒー		
レギュラーコーヒー		
紅茶		
ココア		
日本茶	100.9	1.9
麦茶		
中国茶		

飲料		
市場規模は6か月連続で前年を上回る。「牛乳」：成分未調整牛乳が好調さ維持。6か月連続で前年を上回る。「豆乳」：無調整は4ヶ月連続2桁増で好調さ維持し、全体を牽引。「サイダー」：トップメーカーが2割増の勢いで、他の主要メーカーが振るわない停滞気味の市場を牽引。トップの大型新商品の出足も好調。「紅茶ドリンク」：主力メーカーの勢いに変化が。参入組は好調さを維持して勢いを増し既存組を凌ぐ。メイン商品は好調さを持続し、依然として2桁増で推移。「ミネラルウォーター類」：6か月連続で前年を上回り、3か月ぶりに2桁増となる。やはり炭酸水の伸びは大きく、再び2桁増でミネラルウォーターが伸び率を再逆転。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
飲料 TOTAL	100.5	-0.9
牛乳	105.2	2.2
ヨーグルト		
乳酸菌飲料		
豆乳	108.4	3.0
100%ジュース		
果汁飲料		
トマトジュース	103.7	-2.3
野菜ジュース		
コーラ	100.8	-1.4
サイダー	108.3	10.5
炭酸飲料		
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク	115.3	-2.7
液体茶	102.7	-0.1
スポーツドリンク		
美容・健康ドリンク		
栄養ドリンク	101.6	-2.8
ミネラルウォーター類	110.2	1.5
乳酸飲料		

アルコール		
市場規模は、依然として増税前の駆け込み需要の反動で前年を下回る。が、先月からは回復傾向がみられた。「ウイスキー」：ハイボール需要が高い中、ボトルも前年を上回った。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
アルコール TOTAL	98.2	2.6
ビール		
ウイスキー	104.4	4.8
ワイン		
日本酒		
焼酎		

アルコール		
市場規模は、依然として増税前の駆け込み需要の反動で前年を下回る。が、先月からは回復傾向がみられた。「ウイスキー」：ハイボール需要が高い中、ボトルも前年を上回った。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
アルコール TOTAL	98.2	2.6
ビール		
ウイスキー	104.4	4.8
ワイン		
日本酒		
焼酎		

日用雑貨		
市場規模は、消費税増税前の駆け込み需要の反動も限定的となり、全体ではほぼ前年並みに近づき、回復傾向はさらに進んできた。「殺虫剤」：記録的な暖冬の影響もあり、今月も大きく前年を上回り6か月連続となった。中でも、ダニ対策用品は前年の約1.8倍と好調が続く。「芳香・消臭剤」：消臭剤、とりわけ室内用のウイルス除去効果を謳うものが好調。「ペーパータオル」：上位3メーカーが2桁増で牽引。「ぬれティッシュ」：インフルエンザに加え、新型コロナウイルスへの対策も相まって一気に需要が増加。増税前の駆け込み時を上回る勢い(前年の約4割増)。ノンアルコールタイプのみならず、アルコール系も2桁増となった。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
日用雑貨 TOTAL	99.7	0.3
歯ブラシ		
歯磨き	102.9	2.3
マウスウォッシュ		
義歯用剤		
洗濯用洗剤		
中性洗剤		
漂白剤		
柔軟剤		
台所用洗剤	101.3	2.4
住居用クリーナー	100.5	-0.3
トイレ用クリーナー	102.2	-2.5
バスクリナー	104.3	1.5
パイプクリナー	107.1	1.3
家庭用手袋		
化学雑巾	102.5	-6.4
たわし・スポンジ		
水切り袋		
殺虫剤	119.6	8.7
防虫剤	101.7	4.7
カビ防止剤	109.6	7.7
芳香・消臭剤	109.3	0.1
トイレット用洗浄芳香剤		
除湿剤	102.4	4.3
ラッピングフィルム		
アルミホイル	100.9	1.9
食品包装用品	103.1	2.0
アルミガスマット		
ティッシュペーパー	100.4	-3.5
トイレットペーパー	102.7	0.9
ペーパータオル	108.0	3.2
ぬれティッシュ	138.7	30.5
使い捨て紙クリナー	103.3	2.5
紙おむつ		
大人紙おむつ		
生理用品	101.1	-1.5
絆創膏		
使い捨てカイロ		
綿棒	101.1	1.9

ペット		
市場規模は4ヶ月ぶりに前年を上回る。「キャットフード」：前月に続き前年を上回る。トップメーカーが2桁増で牽引。「ペット用品」：トップメーカーが堅調。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
ペットカテゴリ TOTAL	101.3	1.9
ドッグフード		
キャットフード	102.6	1.7
ペット用品	102.4	3.7

石鹸・ヘアケア		
こちら「日用雑貨」同様に増税前の駆け込み需要の反動から、前年を下回ったものの、先月からの回復傾向は進む。「石鹸」：8割強を占めるボディソープ、液体石鹸が堅調。特に液体石鹸は2桁増。新型コロナウイルス対策の「手洗い」需要が。「制汗剤」：4か月ぶりに前年を上回った。記録的な暖冬でもあり、早期のエチケット対策が始まったか。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
石鹸・ヘアケア TOTAL	99.1	1.5
石鹸	102.9	3.7
入浴剤		
シャンプー		
ヘアリンス		
ヘアトリートメント		
アウトバスヘアケア		
ヘアカーラー		
育毛トニック		
制汗剤	104.1	5.2

化粧品		
化粧品も、増税前の反動から前年を下回ったものの、マイナス幅は縮小し先月からの回復傾向が進む。「クレンジング」：美白、敏感系の新商品が浸透してそれぞれが2桁増で全体を牽引。「洗顔クリーム」：敏感系が2桁増で牽引。「パック」：エイジング+美白対策を謳う商品が好調で前年の1.5倍と好調さ持続。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
化粧品 TOTAL	97.2	2.7
クレンジング	105.6	4.9
洗顔クリーム	105.2	4.8
化粧水		
乳液		
栄養クリーム		
パック	105.7	0.5
美容液	101.1	-3.9
化粧下地	104.0	2.2
ファンデーション		
おしろい		
口紅		
眉目料		
マニキュア		

医薬品		
医薬品は例年に比べて気温が高い日が続いたことで風邪関連の薬は不調であった。が、新型コロナウイルス騒動で、対策用品(マスク、皮膚用薬=手指消毒剤など)の驚異的な需要があつて、大きく前年を上回った。「マスク」：前半はインフル対策、後半はコロナウイルス騒動で一気に買い込み需要が増大し、欠品状態にまで発展。結果的に前年の2.5倍となった。高機能タイプはもちろんのこと、機能性を訴求しないものでさえ7割増となった。「皮膚用薬」：コロナウイルス騒動で除菌対策としてのニーズから、手指消毒剤が爆発的な売れ方となった。「目薬」：中高年向けは新商品が2桁増と好調で、全体を牽引し前年を上回る。		
カテゴリ	金額前年比 2020年1月	前月差 2020年1月
医薬品 TOTAL	112.0	12.3
コンタクト用剤		
マスク	249.6	125.8
ミニドリンク剤		
漢方薬		
総合感冒薬		
鼻炎治療剤		
解熱鎮痛剤	102.3	1.0
鎮咳去痰剤		
口腔用薬		
胃腸薬		
整腸薬	102.1	3.5
外用鎮痛消炎剤	104.6	3.5
皮膚用薬	110.9	11.0
目薬	105.5	3.1
健康食品		

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。